

●目標を達成するための計画

〔子ども学研究科〕

《2024 年度入学生から》

保育・教育・福祉の充実を目指し、子ども学を構成する諸分野の高度な専門的知見と学問的な方法論を身に付けるための科目に加え、子どもの成長・発達を支え、その環境づくりに取り組み、自ら子ども学を創生して社会貢献を目指すために必要な科目を設置している。

これらの科目を有機的に結び付け、機能させるために、カリキュラムとして「子ども学研究科目」と「研究指導科目」の2つの科目群を設置している。「子ども学研究科目」は、〈子ども学基幹領域〉〈保育・教育研究領域〉〈臨床発達研究領域〉〈子ども福祉研究領域〉の4領域から成り、それらを網羅的に学ぶことによって、自身の研究関心を深めていく。「研究指導科目」では、少人数教育による細やかな指導を通して、最終的に修士論文の完成を目指す。これらの全体を通して、子ども学研究を深化させ、子ども学の知見に基づいた実践や施策を構想し、展開することができるようなカリキュラムとしている。

《2023 年度以前入学生》

子どもと保育・教育の現場に関わり、その充実を目指し、学問的追究や研究姿勢を育てる教育科目と子どもの成長・発達を支え、その文化的環境づくりに取り組み、「子ども学」を研究して社会貢献を目指す教育科目を設置している。

これらの教育課程の実践を成果に結び付けるために、「子ども学研究講義科目」及び「研究指導科目」を置き、「子ども学研究講義科目」は、3つの領域として <保育・教育の実践とマネジメント研究領域> <臨床的・科学的発達研究領域> <子どもの福祉に関する研究領域>に分けて科目を設置している。「研究指導科目」は、少人数教育で、最終的に修士論文に向けた研究をすすめるようにしてある。これらの全体を通して、子ども学研究の発展と子ども学の実践における向上を進めることが出来る。